

令和6年度 第2回羽島市生涯学習都市推進会議 次第

日 時 令和7年1月24日(金) 9時30分～
場 所 羽島市役所3階 301会議室

1 会長あいさつ

2 意見交換

「羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画」に基づく
令和6年度の進捗状況について(資料1,2)

3 協議事項

次期「羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画」の策定について
(資料3,4)

令和6年度羽島市生涯学習都市推進会議委員名簿

(順不同・敬称略)

役職名	氏 名	委 員	備 考
会 長 委 員	松 井 聡		市長
	前 田 京 子	1 号	羽島中央生活学校代表
	坂田 田壽子	1 号	社会教育委員代表
	棚 橋 友 紀	1 号	PTA 連合会代表
	山 田 光 子	1 号	老人クラブ代表
	小 森 博 昭	1 号	スポーツ推進会議代表
	森 山 健	2 号	小中学校代表
	下 野 宗 紀	2 号	高等学校代表
	栗 本 善 彦	3 号	自治委員会代表
	益 川 浩 一	4 号	学識経験者(岐阜大学教授)
	近藤 かよ子	4 号	学識経験者(元教育委員)
	小 林 美 雪	4 号	学識経験者(元小学校長)
	石 黒 恒 雄	5 号	副市長
	森 嘉 長	5 号	教育長
	三 輪 弘 司	5 号	健福祉部長
	熊 崎 房 子	5 号	健福祉部子育て担当部長
	加 藤 光 彦	5 号	産業振興部長
	小 川 剛 矢	6 号	障がい者支援団体代表
	加 藤 悦 子	6 号	公募委員
	田谷 由紀子	6 号	公募委員

委嘱期間 令和7年3月31日まで

羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画 に基づく

令和6年度の進捗状況

70のマークは羽島市制施行70周年記念事業に位置付けています

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 子育て世代への利用者支援事業

■ 家庭教育学級の実施・充実

令和6年度の取り組み

伴走型相談支援と経済的支援

●令和6年度より、子育て世代包括支援センターと 子ども家庭総合支援拠点 の機能をも併せ持つ こども家庭センター「子育て相談センター 羽っぴい」（画像①）において事業を実施しています。

（画像①）

羽っぴいイメージキャラクター

●妊娠届出時や状況に応じた妊婦との面談、また出生後の訪問や乳幼児健診等を通じて妊娠期からの切れ目のない支援に努めました。
支援の必要性が高い妊産婦、こども及びその家庭に対し、サポートプランを作成し、必要なサービス利用を勧奨しています。



件数(令和6年12月末)
妊娠届出時の面談 278件
妊娠8か月アンケート 234件

●子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設 や 地域子ども・子育て支援事業等を円滑に利用できるよう身近な場所での相談や情報提供、助言等の支援を行うとともに、関係機関との連携調整を行います。

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 男女共同参画社会の実現

■ 多文化共生社会への理解

■ 教育相談の充実

■ 体験活動の充実

■ 地域活動への参画

令和6年度の取り組み

男女共同参画プランの策定へ

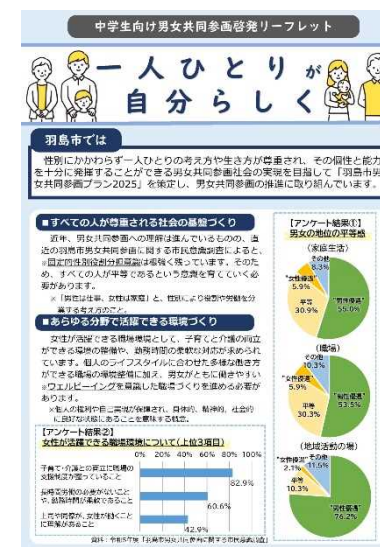
- 羽島市男女共同参画プラン(令和7年度～令和11年度)の策定を進めています。幼少期からの男女平等意識の醸成に向けた取り組みの推進、女性の就業スキル習得、パートナーシップの理解促進等を取り入れ、これまでの取り組みを継続・発展させるものとしています。

市民意識調査の結果、国・県の動向、社会情勢の変化、前プランにおける課題等を踏まえ、さらなる男女共同参画社会の実現を目指します。

- 中学生向けの啓発用リーフレットの改訂を進めています。

3年ぶりの改訂では、現在の社会情勢に即した内容を反映させ、青年期からの男女共同参画に関する意識の醸成を図ります。(画像①)

(画像①)



※画像は作成中のものです。

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 男女共同参画社会の実現

■ 教育相談の充実

■ 地域活動への参画

■ 多文化共生社会への理解

■ 体験活動の充実

令和6年度の取り組み

居場所づくりへの多様なアプローチ

- スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置により、不登校や不登校傾向の児童生徒から子どもを取りまく環境まで包括的な対応を行いました。支援が必要な家庭は増加傾向にあるため、SSWの増員等により柔軟な対応を目指します。

市内に2か所にある適応指導教室では、学校と連携しながら児童生徒の居場所づくりに努めています。不登校児童生徒の増加に対し、誰一人残さず居場所を見つけることができるよう教室の拡充を進めています。

(画像①)

- 市内小中学校では、総合的な学習の時間などにおいて 地域人材と協働した活動を行いました。地域文化への興味・理解促進や地域の一員としての自覚の醸成を図るとともに、児童生徒の新たな活躍の場、居場所づくりに取り組んでいきます。(画像①)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 男女共同参画社会の実現

■ 教育相談の充実

■ 地域活動への参画

■ 多文化共生社会への理解

■ 体験活動の充実

令和6年度の取り組み

小中学生と取り組む環境課題

- ゼロカーボンシティの達成に向けて、児童生徒に地球温暖化を自分ごととして捉えてもらい、自分たちに何ができるかを考えるきっかけづくりになることを目的に みんなで取り組むゼロカーボンシティはしまの実現 と題して作品を募集。「給食で出される牛乳をマイコップに移すことで、ストローを無しにする」など、子どもたちの目線から様々な提案がありました。(画像①②) 70

ノミネート17点 優秀賞2点 努力賞2点 アイデア賞1点

- 小学校高学年を対象とした環境教育副読本 わたしたちの暮らしと環境 羽島市の環境～児童版～ を更新し、各学校で使用しているタブレットを經由して配布を行いました。

(画像①)



(画像②)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 男女共同参画社会の実現

■ 教育相談の充実

■ 地域活動への参画

■ 多文化共生社会への理解

■ **体験活動の充実**

令和6年度の取り組み

地域と連携した放課後子ども教室の実施

●放課後に様々な体験や活動を行う 放課後子ども教室 を市内全ての小学校9校において実施。9校を前期と後期に分けて、それぞれ約11回の日程で活動しました。

●お囃子や美濃縞、雨乞い踊りなどの地域伝統文化の体験、軽スポーツや工作、防災といった多様な活動を行いました。地域の協力を得て、新規の講師拡充に取り組んでいます。(画像①・②)

参加児童総数
135人

足近小11人 小熊小17人 正木小20人 竹鼻小20人 中央小22人
福寿小10人 堀津小10人 中島小15人 桑原学園前期課程10人



(画像①)



(画像②)

情勢や市民ニーズに呼応した講座実施

- 公的機関から講師を招く 学事始(まなびことはじめ) では、二つの講座を開催。
2月は「地域防災」をテーマに、能登半島地震の被災地中能登町から防災担当職員を招き被災や復興の現状を学び、有事に生かす講座を行います。(画像①)
3月は断捨離®トレーナーであり特定行政書士でもある講師を招き暮らしや人生の整え方、終活に備える手続等を学びます。
- 市職員が講師となり市政や身近な問題について話す 出前講座 では健康や外国語教育に関する新メニューを加えた74テーマを用意しました。
地域サロン会や小中学校などでの実施に加えて、毎年一部の講座を市公式YouTubeに公開しています。

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 各種講座の開設・支援

■ まちづくり活動への支援

■ 地域人材を活用した学習機会の提供

令和6年度の取り組み

体験イベントを通した学び

- 4月に不二羽島文化センターにて 防災フェスティバル を開催。市と災害協定を結んだ団体等によるブースを設け、給水袋の運搬体験や停電情報アプリ紹介などを、体験しながら防災意識を高め知識を深める機会を設けました。また 条例制定記念講演 や、サブ会場である図書館では防災・災害関連書籍の展示、コスモパークでは非常食炊き出し訓練などを行いました。(画像①) 70
- 10月に 健幸フェスティバル を開催。関係機関の協力のもと、体力測定や野菜350g計測体験、減塩の啓発等を行いました。体験しながら楽しく学ぶ場を提供し、生涯にわたり健康な生活が送れるように知識の普及に努めました。(画像②)

70

参加者数 700人

(画像①)



(画像②)

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 各種講座の開設・支援

■ まちづくり活動への支援

■ 地域人材を活用した学習機会の提供

令和6年度の取り組み

はしまシティカレッジの実施

- 学習成果や身に付けた技術・知識等を活かし講師となり、地域に学びを広げる場を提供する制度 はしまシティカレッジ を実施しました。

(1)講師養成講座:講座づくりのノウハウを学ぶ(画像①)→審査にて認定講師を決定

(2)シティカレッジ講座:認定講師が実施(各講師2回)

(3)フォローアップ講座:(2)の振り返りや今後の地域活動に向けて学ぶ

- はしまdeマルシェにて、過年度認定講師による講座体験ブースを出店しました。
様々な年齢の来場者に対して、学びの楽しさを伝えるとともに制度周知に努めました。



(画像①)

受講者数・・・講師養成講座 6人 シティカレッジ講座 76人 フォローアップ講座 認定講師 3人 マルシェ 70人

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

- 総合型スポーツクラブ支援事業
- スポーツ施設の整備
- 障がい者スポーツ推進
- 各種スポーツイベントへの支援
- トップアスリート育成支援事業

令和6年度の取り組み

スポーツに触れ合う機会の提供

- 市内3か所の総合型地域スポーツクラブが市内全47運動部活動の移管先として休日に活動しています。10月には各クラブの連携をさらに図るために、3クラブを中心として スポーツクラブ840 を設立しました。
- 3月に、岐阜県障がい者スポーツ協会協力のもと パラスポーツ教室 を、2月に 第3回羽島市ボッチャ大会 を開催します。継続的な開催により競技の関心や認知度を高めつつ、パラスポーツ全体としての普及の推進を図ります。
- FC岐阜 によるサッカー教室や、トップアスリート育成支援事業として 岐阜スウープス によるバスケットボール教室を開催しました。事業PRにより市民がスポーツに触れ合う機会を創出するとともに、成長期の選手の意識を高めていきます。(画像①)

(画像①)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 市民の文化活動及び交流の促進と環境整備

■ 芸術文化の振興

■ 文化・芸術とふれあう機会の提供

■ 地域の文化財等の保護・継承及び活用

令和6年度の取り組み

市ゆかりの芸術・幅広い世代の交流

- 市ゆかりの作家による企画展や今年で5回目となる こどもびじゅつかん を開催し芸術に親しむ機会を創出しました。(画像①②)

所蔵品展 静かなるものとの対話－花・果実・空間(4/20～6/2) 来館者 490人

企画展 記憶のかたち－佐藤典克陶芸展 70 (10/5～11/24) 来館者 346人

つながる原風景－羽島で出会う現代アート (R7.1/18～3/9)

こども向け はしま☆こどもびじゅつかん(7/20～8/4) 来館者 234人

- 11月4日に不二羽島文化センタースカイホールにて 市民合唱ミュージカル を開催しました。小学3年生から大人まで約180人が集まり、4月から20回以上の練習に参加、交流を深めながら創作活動に取り組みました。 70

(画像①)



(画像②)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

■ 市民の文化活動及び交流の促進と環境整備

■ 芸術文化の振興

■ 文化・芸術とふれあう機会の提供

■ 地域の文化財等の保護・継承及び活用

令和6年度の取り組み

市の花美濃菊の普及・絶滅危惧種イタセンパラの保護

●美濃菊展 を文化センターで5年ぶりに複数日(3日間)開催し、約700人の来場者が美濃菊を鑑賞しました。また、JR岐阜羽島駅やぎふ羽島駅前フェスでも展示を行い、市内にとどまらず、市外や他国・多世代の多くの方々に羽島市に伝承される美濃菊をPRする機会を設けました。(画像①)



●国土交通省、環境省協力のもと、生物多様性や希少生物の保護についての意識を高める イタセンパラ塾 を開催、28人が参加しました。劇を交えたお話や水質調査といった体験学習を取り入れ、幅広い年齢層が楽しみながら木曽川の歴史からイタセンパラの生態や保護活動の現状を学びました。(画像②)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

- 情報提供の充実と整備
- 各種関係団体との連携
- 専門機関等との連携
- 地域活動への支援
- 等しく安心して学ぶことができるための支援・配慮

令和6年度の取り組み

地域団体との連携による学びの支援

- 包括協定を結ぶ 愛知文教大学 と連携し、留学生と市内小中学生との交流事業を実施しました。(画像①)
- 放課後子ども教室では、ぎふ地域学校協働活動センターと連携し、学生ボランティアを受け入れ、子どもたちの充実した体験機会の創出を図りました。
- わたしの主張羽島市大会や、各種講演会において手話通訳者を派遣しています。隔たりなく学べる場を整え講演会や行事開催における、情報保障をしています。障がいの有無に関わらず、学び経験する機会の確保に努めてきました。(画像②)



(画像①)



(画像②)

羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画目標指標

資料2

目標指標名	基準値 (基準時点)	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)	担当課
家庭教育学級の参加率	66.60% (平成30年度)	61.30%	70.00%	学校教育課
コミュニティ・スクールの理解度	30.00% (令和元年度)	70.60%	60.00%	学校教育課
出前講座の実施数	82回 (平成30年度)	56回	93回	生涯学習課
総合型地域スポーツクラブに加入している人数	1,471人 (平成31年3月31日)	1,580人	1,950人	スポーツ推進課
健康増進等教室参加者数	1,306人 (平成30年度)	1,007人	1,500人	子育て・健幸課
美術展(一般の部・少年の部)への来場者数	5,613人 (平成30年度)	一般の部：682人 少年の部：開催前	6,161人	生涯学習課
美濃菊展出展者数	個人38人 団体25団体 (平成30年度)	個人14人 団体17団体	個人41人 団体27団体	農政課
市公式LINE登録者数	- (平成31年4月1日)	10,021人	3,400人	秘書広報課
市民一人当たりの図書館資料貸出数	3.85冊 (平成30年度)	4.34冊	4.15冊	図書館
市民活動団体登録数	7団体 (平成31年4月1日)	18団体	12団体	市民協働課

「家庭教育学級の参加率」「コミュニティスクールの理解度」は年度末集計のため令和5年度値となります
 令和6年度現状値は、令和6年12月1日時点のものです（総合型スポーツクラブ加入数は6月30日時点・美術展は12月23日時点）

羽島市生涯学習都市づくり 5 力年計画策定方針（案）

1．計画策定の趣旨

・現行の「羽島市生涯学習都市づくり 5 力年計画」は、「岐阜県生涯学習振興指針」(平成 29 年 3 月)にて県が進める「地域づくり型生涯学習」を推進するため、令和 2 年度から 6 年度までの 5 力年を計画期間として、令和 2 年 3 月に策定している（令和 4 年 5 月に、計画期間を令和 2 年度から 7 年度までの 6 力年に延長している）。同計画が、来年度末で終期を迎えることから、令和 8 年度からの次期「羽島市生涯学習都市 5 力年計画」を策定する。

2．計画の位置づけ

・現行計画を継続、発展させる。
・本市の最上位計画である「羽島市第七次総合計画」に基づいた、生涯学習に係る個別計画である。

3．計画の期間

・令和 8 年度～12 年度の 5 年間とする。
・計画の見直しが必要になった場合には、適宜見直す。

4．計画策定に向けた会議・調査

・岐阜県が令和 5 年 3 月に策定した「岐阜県生涯学習振興指針」に加え、次のものを踏まえた策定を行う。

生涯学習都市推進会議

令和 6 年度中に実施する生涯学習に関する市民アンケート調査結果

パブリックコメント

令和 2 年 3 月に策定「羽島市生涯学習都市づくり 5 力年計画」の取組状況

5．計画の体系

・「基本理念」を設定し、それを実現するための「基本方針」を示しながら、具体的な施策の基盤となる「施策の方向性」を位置づける。

6．計画策定のスケジュール（予定）

時期	策定スケジュール	生涯学習都市推進会議
1月		令和6年度第2回推進会議(24日) ・次期計画策定方針案及び市民アンケート調査概要の提示
2月	・市民アンケート調査実施	
3月	・市民アンケート回収	
4月	・市民アンケート集計及び分析 ・骨子案作成	
5月		
6月		
7月		令和7年度第1回推進会議 ・骨子案提示
8月	・計画素案作成	
9月		
10月		
11月		令和7年度第2回推進会議 ・計画素案提示
12月	・パブリックコメント	
R8.1月	・計画最終案作成	
R8.2月		令和7年度第3回推進会議 ・計画最終案提示
R8.3月	・次期計画策定	

生涯学習に関する市民アンケート調査について

1．実施目的

・生涯学習に関する市民の意識や現状を把握し、次期生涯学習都市5カ年計画の策定に向けた基礎資料とするとともに、今後の生涯学習の推進の参考とするために実施する。

2．調査設計

[調査地域] 羽島市全域

[調査対象] 羽島市在住の18歳以上の男女

[標本数] 1,000人

[抽出方法] 住民基本台帳から無作為抽出

[調査方法] (配布) 郵送 (回答・回収) 郵送又はインターネット

[調査時期] 令和7年2月～3月(予定)

3．調査内容

【概要】

問1、問2	性別・年齢
問3～問8 - 2	生涯学習に対するイメージ・生涯学習の実施状況等
問9～問15	地域づくり型生涯学習の認知度・地域人材に関すること等
問16	自由記述